

作成日: 1998年6月1日

改訂日 (V.9): 2016年12月28日

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: クサリノー10

会社名: 日本農薬株式会社  
 住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目 19番 8号 京橋OMビル  
 担当部門: 環境安全部  
 TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451  
 e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp

緊急連絡電話番号: (平日) 03-6361-1426 (環境安全部)  
 (休日、夜間) 04-2929-8961 (ALSOK)

推奨用途及び使用上の制限: 農薬用展着剤、農薬登録の範囲外の使用は不可

SDS番号: 508-01 (M175)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
	自然発火性液体	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入: 蒸気)	区分外
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分外
	生殖毒性	区分1B
環境有害性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1 (中枢神経系、視覚器、全身毒性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1 (中枢神経系、視覚器)
	水生環境有害性(急性)	区分3
	水生環境有害性(長期間)	区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

### GHSラベル要素

#### 絵表示



#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

引火性液体及び蒸気  
 飲み込むと有害のおそれ  
 重篤な眼の損傷  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 臓器 (中枢神経系、視覚器、全身毒性) の障害  
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (中枢神経系、視覚器) の障害  
 水生生物に有害

## 長期継続的影響によって水生生物に有害

## 注意書き

## 【安全対策】

- 熱・火花・裸火・高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
- 容器を密閉しておくこと。
- 容器を接地すること。アースをとること。
- 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 取扱い後は手をよく手を洗うこと。
- 必要なとき以外は環境への放出を避けること。

## 【応急措置】

- 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。
- 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 直ちに医師に連絡すること。
- 気分が悪いときは、医師の診断を受けること。

## 【保管】

- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 施錠して保管すること。

## 【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性：空気との混合により爆発性混合気体を生成するおそれがある。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエーテル

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエーテル	10.0%	9036-19-5	(7)-172	(7)-172
化管法第一種指定化学物質				
〈その他〉				
メタノール	10.0%	67-56-1	(2)-201	(2)-201
安衛法表示・通知対象物				
水等	80.0%	—	—	—

## 4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診療を受ける。

吸入した場合：被災者を速やかに新鮮な空気のある場所に移す。異常が現れた場合には、直ちに医師の診療を受ける。

飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗い、牛乳、卵白を与え、医師の診察を受ける。無理に吐かせてはならない。意識のない時には口から何も与えてはならない。

## 5. 火災時の措置

消火時の注意：消火活動には適切な保護具（自給式呼吸保護具等）を着用する。蒸気、煙等の吸入を避ける。消火水が下水や河川に流れ込まないように適切な処置をとる。

消火剤：粉末、泡沫、炭酸ガス、霧状水、水  
使ってはならない消火剤：情報無し。

## 6. 漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを取り除く。適切な保護具（保護衣、保護眼鏡、保護マスク等）を着用して、眼や皮膚に触れたり、ガスやミストを吸い込まないようにする。漏出物を土、砂等に吸収させ、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。  
適切な保護具を着用し、ガスやミストを吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにする。容器を開封するときは、内容物の吹き出し、飛散に注意する。着火源となるものの付近では取扱いをしてはならない。  
作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管：容器を密閉し、換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない所に施錠して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、うがい、手洗い、安全シャワー設備を設置する。

個人用保護具：状況に応じた適切な保護具を着用する。  
防毒マスク、保護眼鏡、ゴーグル、保護衣、ゴム手袋  
作業時に使用していた衣類等は他のものと分けて洗濯する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観：淡黄色透明液体  
臭い：データ無し。  
比重：データ無し。  
pH：5.0～7.0（1%懸濁水溶液）  
引火点：53.5℃  
爆発性：空気との混合により、爆発性混合気体を生成するおそれがある。  
自然発火性：常温の空気と接触しても自然発火しない。

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性： 通常の取扱い条件では安定。

危険な反応： 知られていない。

危険有害な分解生成物： 知られていない。

## 11. 有害性情報

本剤は下記の各試験を実施していないので、有効成分の含量を50%、とメタノールの含量を15%に増量した製品(クサリノー)のデータを以下に記す。

急性経口毒性：	ラット LD <sub>50</sub> 値 (mg/kg)	♂ 4825	♀ 2979
急性経皮毒性：	ラット LD <sub>50</sub> 値 (mg/kg)	♂, ♀ >2000 (中毒症状及び死亡例無し)	
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：			
	ウサギ	軽度の刺激性あり。	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：			
	ウサギ	強度の刺激性あり。	
皮膚感作性：	モルモット	陰性	

以上の結果から推定し、急性毒性(経口)は区分5、急性毒性(経皮)は区分外、皮膚腐食性及び皮膚刺激性は区分外、眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性は区分1、皮膚感作性は区分外とした。

急性毒性(吸入：蒸気)：混合物に1%以上含まれる成分で毒性情報のあるものは、区分外に分類されているメタノールのみであることから区分外とした。

生殖毒性： 区分1Bに分類されるメタノールを濃度限界である0.1%以上含有することから区分1Bとした。毒性未知成分量は10%。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)に分類されるメタノールを濃度限界である1.0%以上含有するため区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)とした。毒性未知成分量は10%。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分1(中枢神経系、視覚器)に分類されるメタノールを濃度限界である1.0%以上含有するため区分1(中枢神経系、視覚器)とした。毒性未知成分量は10%。

## 12. 環境影響情報

本剤は下記の各試験を実施していないので、有効成分の含量を50%、とメタノールの含量を15%に増量した製品(クサリノー)のデータを以下に記す。

水生環境有害性(急性)： 区分3

コイ	LC <sub>50</sub> 値/96h	14.1 mg/L
オオミジンコ	EC <sub>50</sub> 値/48h	16.9 mg/L
緑藻*	EbC <sub>50</sub> 値/0-72h	86.0 mg/L
	ErC <sub>50</sub> 値/24-72h	170.4 mg/L

(\**Selenastrum capricornutum*)

水生環境有害性(慢性)： 区分3

急性区分が3で、急速分解性及び生物蓄積性が不明であることから慢性区分3とした。

以上の結果から推定し、本剤の水性環境有害性(急性、長期間)はともに区分3とした。

生態毒性： 製剤のデータ無し。

残留性・分解性： 製剤のデータ無し。

生体蓄積性： 製剤のデータ無し。

土壌中への移動性： 製剤のデータ無し。

オゾン層への有害性： 製剤のデータ無し。

**13. 廃棄上の注意**

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。  
 空容器：内容物を使いきった後、3回以上洗浄し適切に処理する。洗浄液は河川、下水等水系に流さないようにする。

**14. 輸送上の注意**

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

国連番号： 非該当  
 品名（国連輸送名）： 非該当  
 国連分類： 非該当  
 容器等級： 非該当  
 海洋汚染物質： 非該当  
 緊急時応急措置指針番号： 非該当

**15. 適用法令**

農薬取締法

消防法：指定可燃物

毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物に該当せず（劇物のメタノールを含むが混合物であり該当しない）。

労働安全衛生法

有機則（メタノール5%以上含有）

表示対象物（法57条、施行令第18条）：メタノール（政令番号560）

通知対象物（法57条の2）：メタノール（政令番号560）

化学物質排出把握管理促進法（化管法）：

指定化学物質：ポリ（オキシエチレン）=オクチルフェニルエーテル（第1種 政令番号408）

**16. その他の情報**

参考文献

- 1) JIS Z 7253：2012、GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。